

2006年 第10回日本代替・相補・伝統医療連合会議(JACT)

乳酸菌の発酵産物 -Biofermentics® の15年にわたる臨床経験

～体験談 - 医師コメント 126症例の分析～

○関口守衛、阿部一彦 a、新良一 a、金内長司 a、水谷武夫 a；赤坂関口クリニック、a エイ・エル・エイ

各種の有効乳酸菌、酵母を豆乳に接種し共棲培養して得られた発酵産物 (Biofermentics,BF) は、体質改善健康法のために、過去15年、一般市民に向けた健康食品として会員制販売使用 (約3万人) の実績があるので、その臨床応用のプロフィールをみる。

【症例】

今回、1996～2005年の間に行われた会員メンバーによる総会 (約1,000～3,000人) で自己発表 (本人またはその近親者) でのBFの使用体験談が機関誌WALTZに報告されているので、そのすべてを検討した結果をまとめ、BFの臨床応用の普遍性について分析した。

各疾患体験者が自己発表した事例 (n=126例) について、どのような疾患に使われていたかを調査し、次いで、体験談の内容について医学的に客観性のある事項 (EBM) として記録されているかどうかを中心に分析した。

対象は、男性年齢 54.8 ± 23.6 (S.D.)、女性 55.8 ± 14.8 (S.D.)、男女比は1対1.4で、これらの発表について、4～5名の顧問担当医師がそれぞれの専門の立場からコメントしたので、その記録を元に、BFの効果を2群に分けて検討した：A群) BFが病態改善に有効ないし補助的な役割を演じたと思われる場合、B群) いわゆる好転反応がみられた場合。

【結果】

A群の疾患内容は、C型肝炎、大腸炎、潰瘍性大腸炎、過敏性腸症候群、アトピー性皮膚炎、膠原病、ことにリウマチ性関節炎、熱傷、気管支喘息、好酸球性肺炎、花粉症、各種腫瘍 (リンパ腫、肺癌、前立腺癌など)、抗癌剤副作用 (脱毛、嘔吐、白血球減少など) 改善、うつ病などであった。EBMが記載されたものが30例あった。その主な内容は、GOT、GPTの改善、ヘモグロビンA1Cの改善、高血圧改善、骨髄の増加、総コレステロール値の改善、癌の縮小、頭髪の発毛などであった。しかし、これらは、現代医療とコンビネーションで行われるために、完全な単独使用ではなかった。

B群の好転反応例の疾患はアトピー性皮膚炎 (n=1)、うつ病 (n=1)、骨肉腫 (n=1)、自己免疫性肝炎 (n=1) などであった。

【考察】

BFには、便通の改善、抗炎症、創傷治癒促進、自然治癒力増加、肝障害細胞の活性化作用、アレルギーないし免疫反応の改善、抗腫瘍作用ないし抗癌剤副作用軽減、自律神経系調整、抗ストレス作用、など様々な効果があると考えられた。また、口内炎、歯周病、特発性舌痛症に補助的に有効であった。

【結論】

BFは、従来の現代医療では改善よりも増悪がみられるような症例、ことにいわゆる難病に対して、有効性を発揮する副作用が少ないサプリメントと考えられる。